

# 紀州 経済史 文化史 研究所紀要

第 37 号

- 
- 紀州時代吉宗史の再構成  
——『南紀徳川史』歴史像の克服——  
藤 本 清二郎 ( 1 )
- 〈史料翻刻〉  
紀州藩家老三浦家文書(二二)  
——江戸出府日記・御用番留帳——  
上 村 雅 洋 ( 35 )
- 和歌山大学紀州経済史文化史研究所蔵『車塚由来』解題  
石 本 和可奈 ( 61 )
- 書評 村瀬憲夫・三木雅博・金田圭弘著  
『和歌の浦の誕生 — 古典文学と玉津島社』  
菊 川 恵 三 ( 75 )
- 地方における高学歴女性のライフコース選択  
——県立和歌山高等女学校の事例から——  
土 田 陽 子 ( 1 )
- 太田城水攻め研究の現在  
『紀州研フィールドミュージアム叢書①』  
『中世終焉 — 秀吉の太田城水攻め — 』刊行 8 年の総括  
宇 民 正・海津一朗・新谷和之・弓倉弘年 ( 17 )
- 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における大学の役割  
——和歌山県下の市町村を事例として——  
富 永 哲 雄 ( 33 )
- 〈研究ノート〉  
紀伊半島における河川プールの設置状況  
田 代 優 秋 ( 45 )
- 

2 0 1 6 年 1 2 月

和歌山大学紀州経済史文化史研究所

【執筆一覧】 ◎を付したものは投稿・査読論文である。

- ◎藤 本 清二郎 和歌山大学 名誉教授  
上 村 雅 洋 和歌山大学 経済学部 教授  
◎石 本 和可奈 和歌山大学 教育学部卒業  
菊 川 恵 三 和歌山大学 教育学部 教授  
◎田 代 優 秋 和歌山大学 COC+推進室 特任助教  
◎富 永 哲 雄 和歌山大学 COC+推進室 特任助教  
◎宇 民 正 元和歌山大学システム工学部教授  
海 津 一 朗 和歌山大学 教育学部 兼 観光学部研究科 教授  
新 谷 和 之 和歌山市企画整備課学芸員  
弓 倉 弘 年 和歌山県立桐蔭高等学校教諭  
◎土 田 陽 子 和歌山大学 システム工学部 特任准教授

### 【編集後記】

本研究所紀要37号をお届けします。今号より誌面の改革を行ないました。まず表紙見返にお示しした投稿要領および研究所HPに掲載されている『紀要』内規により、本研究所の目的に叶う限りどなたでも投稿できる仕組みにあらためました。今号には、計6本の審査論文(研究ノート・資料紹介を含む)が掲載されることになりました。また、これまで紀要に掲載しておりました事業報告・展示報告は、研究プロジェクト報告などと併せましてHP内に掲載いたします。必要な方はそちらをご覧ください。より広く地域社会・学術コミュニティに貢献できる研究誌であるよう、今後もデジタル化・英文発信などに向け、誌面改革を続けて参りたいと考えております。

(本研究所副所長・研究部門長 大橋直義)

### 紀州経済史文化史研究所紀要 第37号

発行日 2016年12月27日  
発行所 和歌山大学紀州経済史文化史研究所  
和歌山市栄谷930  
印刷所 中和印刷紙器株式会社  
和歌山市久保丁4-53

## 『紀州経済史文化史研究所紀要』投稿要領

- 1 (投稿資格) 論文・資料紹介いずれの場合でも、紀州経済史文化史研究所および『紀州経済史文化史研究所紀要』の目的に合致する研究論文である限りにおいては、所員に限らず誰でも投稿できるものとします。なお、投稿に際しては、本研究所所員の推薦状を添付することができますが、採否には影響しません。
- 2 (字数制限等) 注・図表・図版を含め、400字詰原稿用紙換算にて40枚程度を原則とします。使用言語は日本語を原則とします。上記の原則および学術論文としての常識的体裁を大きく逸脱する場合、投稿をお断りする場合があります。また、引用資料・図版等を掲載するにあたっての許諾申請等(電子公開も含む)は投稿者が各自の責任において行なって下さい。
- 3 (投稿申請) 例年7月下旬の投稿申請締切までに、投稿者の氏名・連絡先、投稿論文の題目・予定分量・400字以内の要旨を添え、郵送ないしe-mailにて投稿申請を行なって下さい(投稿者が所員ではない場合には研究略歴を添付して下さい)。申請を取り下げる場合には、速やかにご連絡下さい。なお、投稿申請締切日の詳細についてはお問い合わせ下さい。
- 4 (投稿方法) 投稿論文の正本・副本、計2部を郵送または持参して下さい。その際、論文データを記録したメディアもあわせてご提出下さい。なお、投稿論文および記録メディアは、投稿を取り下げる等、いかなる場合においてもお返しできません。
- 5 (投稿締切) 例年9月中旬の投稿締切日までに上記に定めた方法でご提出下さい。投稿締切日の詳細については投稿申請時にお知らせします。
- 6 (論文審査) 『紀要』編集委員会が指名する若干名によって投稿論文の審査を行います。採否が確定しましたら、速やかに投稿者にお知らせします。
- 7 (抜刷等) 掲載論文の抜刷を50部、および本誌5部を進呈いたします。
- 8 (電子公開) 『紀州経済史文化史研究所紀要』は電子化されウェブ上に無償で公開されます。本誌掲載の著作物の著作権は執筆者に帰属しますが、研究論文等の入稿を以て、ウェブ上における無償公開を許諾したものと見なします。
- 9 (連絡先) 論文投稿に関しての窓口は紀州経済史文化史研究所事務室とします。

### 附則

本投稿要領は平成28年6月28日より適用する。

BULLETIN  
OF  
INSTITUTE OF KISHU ECONOMIC  
AND CULTURAL HISTORY  
WAKAYAMA UNIVERSITY

---

CONTENTS

**Article:**

A Study on the Shogun TOKUGAWA YOSHIMUNE during the Era of his Rule in the Kii-Province with the Purpose of Getting a Deeper Understanding of the Historical Portrait Provided by the “NANKITOKUGAWA-SHI”

FUJIMOTO Seijiro ( 1 )

**Transcription:**

Family Documents of Miura, Seneschal of the Kishu Clan (22)

UEMURA Masahiro ( 35 )

**Bibliographical Notes:**

“The Origin of Kurumazuka” Possessed by the Institute of Kishu Economic and Cultural History

ISHIMOTO Wakana ( 61 )

**Book Review:**

“The Birth of ‘WAKA-NO-URA’ — Classical Literature and Tamatsushima-Jinja” authored by MURASE Norio, MIKI Masahiro and KANEDA Yoshihiro

KIKUKAWA Keizo ( 75 )

**Articles:**

Career Paths of Highly Educated Women in Prewar Wakayama City :  
The Case of Graduates from the Prefectural Girls’ High School

TSUCHIDA Yoko ( 1 )

The Present State of the Study on the Attack of Ota Castle by Flooding — Kishuken Field Museum Library① the End of Medieval Era — Hideyoshi’ s Attack of Ota Castle by Flooding” — General Overview of 8 years after the above book was published

UTAMI Tadashi, KAIZU Ichiro, SHINYA Kazuyuki & YUMIKURA Hirotohi ( 17 )

The Role of Universities in Japanese government’s Long-term Vision and Comprehensive Strategy :

A Case Study of Cities and Towns in Wakayama Prefecture

TOMINAGA Tetsuo ( 33 )

**Research Note:**

Research on the status of river-swimming pools in the Kii Peninsula, Japan

TASHIRO Yusu ( 45 )